

育友会だより

武庫川女子大学附属中学校・高等学校育友会

<会長のご挨拶>

令和元年度 育友会会長 澤田公子

令和元年度、「武庫川学院創立80周年」節目の年に会長を任せられ、校長先生はじめ、諸先生方、育友会会員、育友会評議員のみなさまに支えられ、6年間活動ができたことを心より感謝いたします。

新型コロナウイルスの影響で、今後育友会活動の見通しを立てることが困難ですが、就任時に申しあげました、より良い活動内容の見直しを、新会長や役員のもと、引き続き行ってまいります。

みなさまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、6年間本当にありがとうございました。



未来を切り拓く教育の実現を目指して

育友会副会長・校長 藤森陽子

たかんなの疾^{しびん}迅わが背越す日かな

石塚友二

筍（たかんなとは「筍」のこと）の成長はめざましく1日に1尺も伸びるそうです。お子さまの成長もこの掲出句のように思われます。

令和2年度の始まりは、思いもよらぬスタートとなりました。世界的な危機、それはまるで戦争のようだと形容する人もいます。目にみえないウィルスとの戦いです。出口が見えない日々を過ごさざるをえない私たちにとって、時折心温まるニュースも報道されています。今、生徒のみなさんは、どのように過ごされているのでしょうか。家族団欒という言葉が時代とともに縁遠くなっていく中、再び家族が顔をあわせてゆっくり話す時間ができたということは非常にすばらしいことだと思います。行動範囲も狭められ、不自由を強いられている毎日ですが、山中伸弥先生の言を借りればマラソンのようなものであるといわれていました。持続力を要するものであり、正しい判断と行動が求められるということになります。このような中、本校ではいち早く授業の学習動画を配信し、生徒への学習への支援を行っています。このような環境で実施することが出来ますのも、生徒一人ひとりがiPadを所有していることが大きな助けとなっています。保護者の皆様には深く感謝申し上げます。

それでは以下に本年度の教育指針を掲載させていただきます。今年度もよろしく申し上げます。

【教育指針】

未来を見通しにくいこれからの時代においては、地球規模での課題に目を向け、未来を切り拓いていく力をつけることによって、持続可能な社会の実現に貢献できる生徒を育成する。

【1】SSH 事業をはじめとする特色ある教育の確実な実現

(1) 読書活動の推進

読書100選を推進し、6年間で本校が指定する100冊の本を中心に読むことを勧める活動を継続する。ビブリオバトル、読書会を行い、幅広い視野と教養を身につける。

(2) 文理の枠を越えた探究活動の推進

SDGsにかかる課題(食糧、環境、エネルギー、住み続けられるまちづくり、ライフサイエンス、先端技術)からテーマを設定し、探究活動を進める。

(3) 本大学をはじめ、他大学、他校、企業等との連携

高度科学技術人材育成を目的に、さまざまな教育機関と連携し、教育活動の質を高め、探究活動を深める。

【2】特色ある教育実現のための支援体制

これからの時代にふさわしい新しい学習環境での学びが求められる。多様な生徒の多様な学びに対応できる学習環境として、教室のリニューアルを機に、自由にインターネットにアクセスできる学習環境の整備、家庭での学習を円滑に進める遠隔授業システムの拡充を進める。また、多様な学びを保障する教育課程の弾力化を進める。

今年度は、以上のことを中心に学校運営を進めていきたいと考えています。新型コロナウイルス感染拡大防止により、長期にわたる休校が続いていますので、あらためて、年間行事等をお知らせさせていただきます。ご理解・ご協力よろしく申し上げます。